



HITACHI App Project



目次

1. 私たちの活動
2. 活動の背景
3. アンケート調査
4. 日立市で使用した場合
5. 日立市の課題
6. 提案のまとめ
7. 参考文献 / 活動費用

1. 私たちの活動



RESEARCH



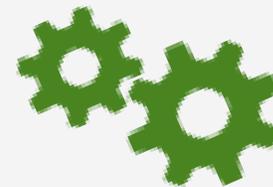
地域アプリによる日立市の地域活性化

PURPOSE



交流センターの存続
日立市の店舗活性化

METHOD



まちのコイン

GOAL



交流センターの存続のため、まちのコインを使用
まちのコインによって日立市の店舗活性化



交流センターの存続のため、まちのコインを使用
まちのコインによって日立市の店舗活性化

▶ 「日立市役所 × 学生」 によって実現する



2. 活動の背景



目的の決定

PURPOSE



交流センターの存続
日立市の店舗活性化

コミュニティ推進課へインタビュー

01

「交流センター」に多くの人に参加してほしい
交流センターの高齢化に伴い、日立市民の若者が交流センターの活動に参加するきっかけ作りを行いたい

02

交流センターの活動を「持続化」したい
日立市役所と、交流センターでの協働によるまちづくりを行う

03

「まちのコイン」という地域アプリを使用する
交流センターの活動に参加してもらうため、持続化するために地域アプリを使用する



※インタビュー 2022 / 7 / 22

大みか交流センター・久慈交流センターへインタビュー

交流センターとは...

「1学区に1つの地域活動拠点施設」として確立
日立市に全23か所

【活動内容】

01

清掃活動

02

防災訓練

03

交流促進

04

学習事業

05

健康促進

06

福祉活動

07

広報活動

【 課題点 】

人手不足

運営の高齢化

参加率低下

コロナ禍による活動縮小

募集活動を行っていない

01

「市民問わず」多くの人に参加してほしい

若者をはじめ、高齢者にも参加してもらい、活動内容などを一緒に考えてほしい

02

「情報発信ツール」がほしい

交流センターの活動をもっと広めるツールや、参加者を募集できるツールがほしい



※インタビュー 2022 / 8 / 29
9 / 4

【 交流センターの存続を図る理由 】

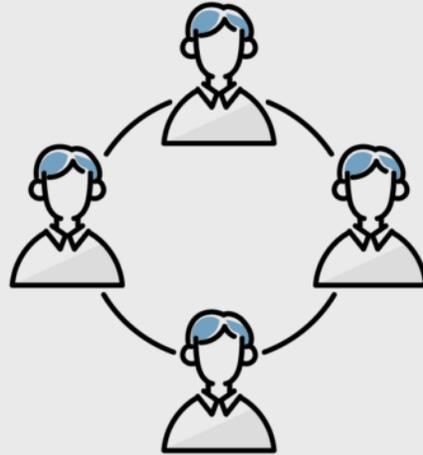
REASON 1



「 地区ごと 」に必要な 地域活動を行える

地区ごとに合った活動により、支援が行き届きやすく柔軟な対応ができる

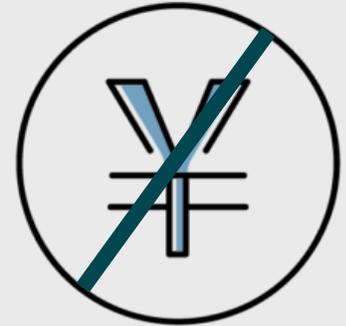
REASON 2



「 交流の場 」となる

高齢者や親同士など横の繋がりがや、世代を超えた繋がりを形成する場となる

REASON 3



参加するお金、会費が 「 かからない 」

交流センターの活動に参加するハードルが低くなり、誰もが参加しやすくなる

【 交流センターの存続を図る理由 】

REASON 1



「地
地」

地区ごとに合った活動により、支援が行き届きやすく柔軟な対応ができる

REASON 2



高齢者や親同士など横の繋がりが、世代を超えた繋がりを形成する場となる

REASON 3

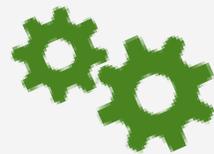


交流センターの活動に参加するハードルが低くなり、誰もが参加しやすくなる

交流センターの活動は
日立市を住みやすくしている

手段の決定

METHOD



まちのコイン

まちのコイン

ひと・まち・地球にうれしい体験で
地域を繋げるコミュニティ通貨サービス

「お金では買えない幸せがあふれるまちへ」

【登録ユーザー】

32,640人

【導入地域】

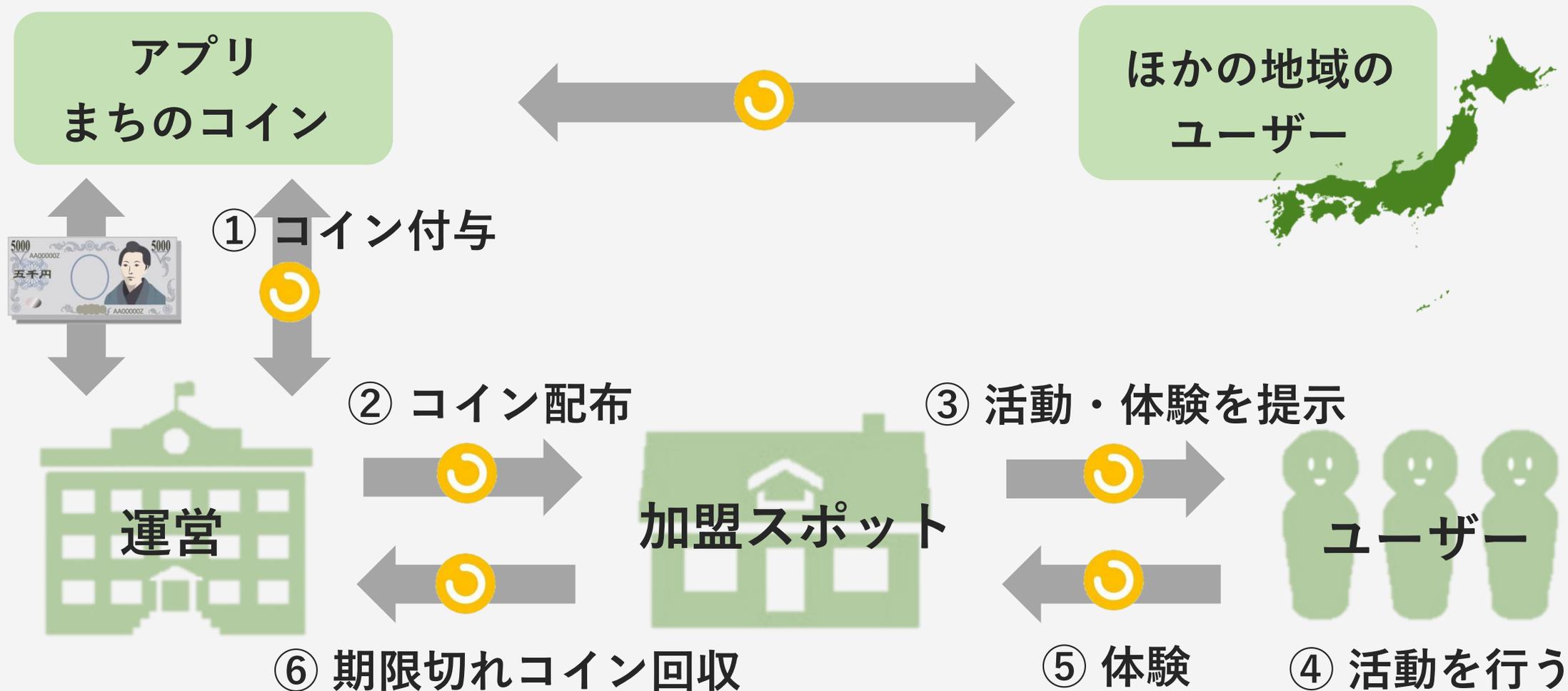
19地域

※ 2022年7月時点



【 仕組み 】

 ≠ 法定通貨 / 使用期限あり



【 使用効果 】

◎ 運営目線



経済効果

ユーザーが地域のお店・施設に足を運ぶきっかけとなる。買い物などの機会創出を生み出す。



まちの問題解決

その地域の問題をユーザーの活動・体験として提供することで問題解決へと繋がる。

◎ 加盟スポット目線



顧客増加

常連客やファンを増やすことができる。また、客単価向上が期待できる。



マーケティング活用

年齢、性別などの顧客情報を取得することが可能である。



SDGs

フードロスの削減など、その地域のSDGs問題を解決できる。



情報発信ツール

ユーザーがお店・施設を認知するきっかけとなる。

◎ ユーザー目線



活動

簡単に気軽に参加することができる。地域にいいこと
ができる活動となっている。



体験

お金では買えない体験ができる。普段とは違う少しお得な
体験、特別な体験ができる。



人との交流

活動・体験を通して、地域
の人と繋がること
ができる。地域の
人との交流により、
地域の情報が得やすくなる。

【 強み 】

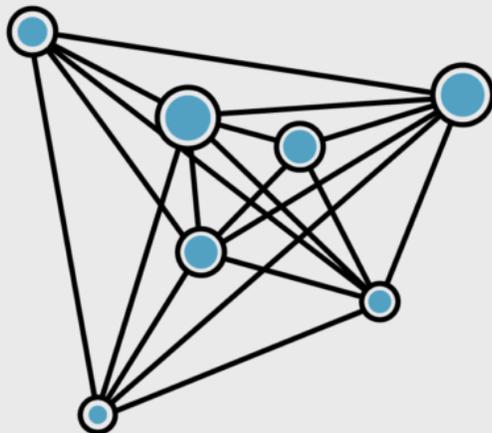
POINT 1



「活動場所」の 宣伝も可能

体験を行えるお店・施設だけに限らず、活動を行う場所の情報も発信することができる。

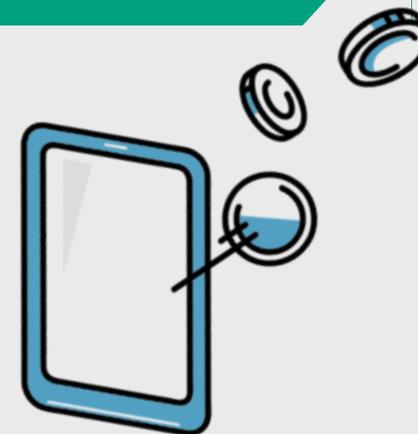
POINT 2



「関係人口」の創出

まちのコインのアプリを使用している人なら誰でも参加利用可能。そのため、市外在住の人に向けての活用ができる。

POINT 3



「低コスト」での運営

アプリ内でのコイン運用であるため、コストは導入費用のみとなる。

PURPOSE



交流センターの存続
日立市の店舗活性化

METHOD



まちのコイン



経済効果



まちの問題解決



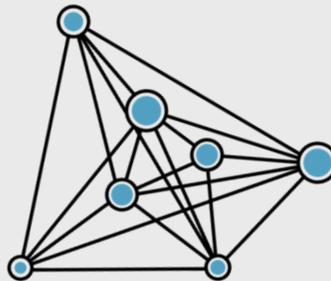
情報発信ツール



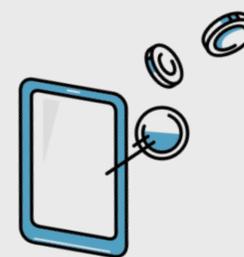
体験



宣伝効果



関係人口



低コストでの運営

提案の決定

GOAL



交流センターの存続のために、まちのコインを使用
まちのコインによって日立市の店舗活性化

交流センターの需要

- ・ 人手不足解消
- ・ 情報発信ツールが欲しい
- ・ 興味を抱いてほしい



まちのコインによる供給

- ・ 活動者の募集ができる
- ・ 情報発信ツールになる
- ・ 交流センターの活動をアピールできる

コミュニティ推進課の需要

- ・ 交流センターに参加してほしい
- ・ 地域活性化を図りたい



まちのコインによる供給

- ・ 日立市の問題を解決する活動を提案
- ・ 日立市のお店・施設に通うきっかけ
- ・ 地域活性化へと繋がる

GOAL



交流センターの存続のために、まちのコインを使用
まちのコインによって日立市の店舗活性化

3. アンケート調査



【 調査目的 】

交流センターの地域活動への意識調査

茨城キリスト教大学の学生の日立市民の割合

【 調査対象者 】

茨城キリスト教大学に通学している大学1年生～4年生

【 調査方法 】

Googleフォームにてアンケート作成

茨城キリスト教大学内で、無作為に声掛け依頼

【 調査内容 】

1. パーソナルデータ（性別、学年、現在暮らしている市町村）

2. 交流センターを知っているか

3. 地域活動に参加したいか



5. 日立市でどのような体験がしたいか

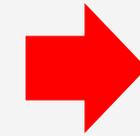
6. 体験ができるなら地域活動に参加したいか



8. サービスを受けられるなら参加したいか



11. 参加したいと思わない理由は



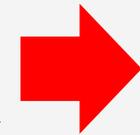
はい



いいえ



4. どの地域活動に参加したいか



7. どの地域活動に参加したいか

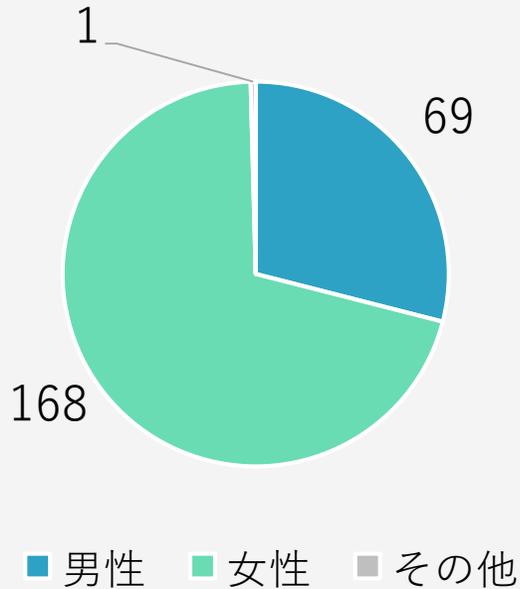


9. どの地域活動に参加したいか

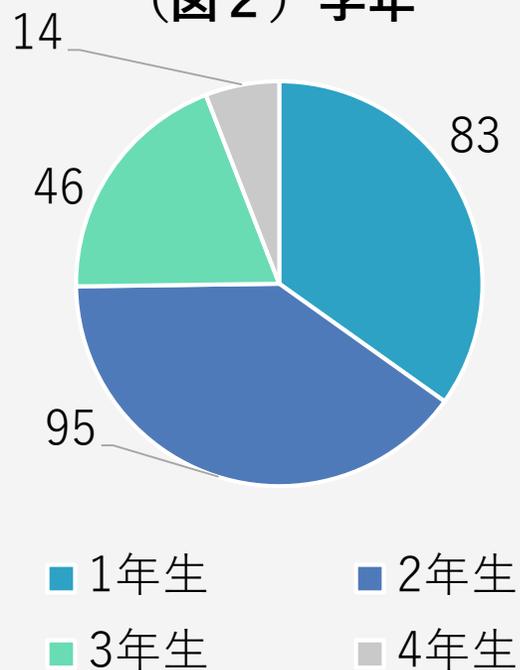
10. どの店舗で使えたらいいか

【 調査結果 】 (n = 238)

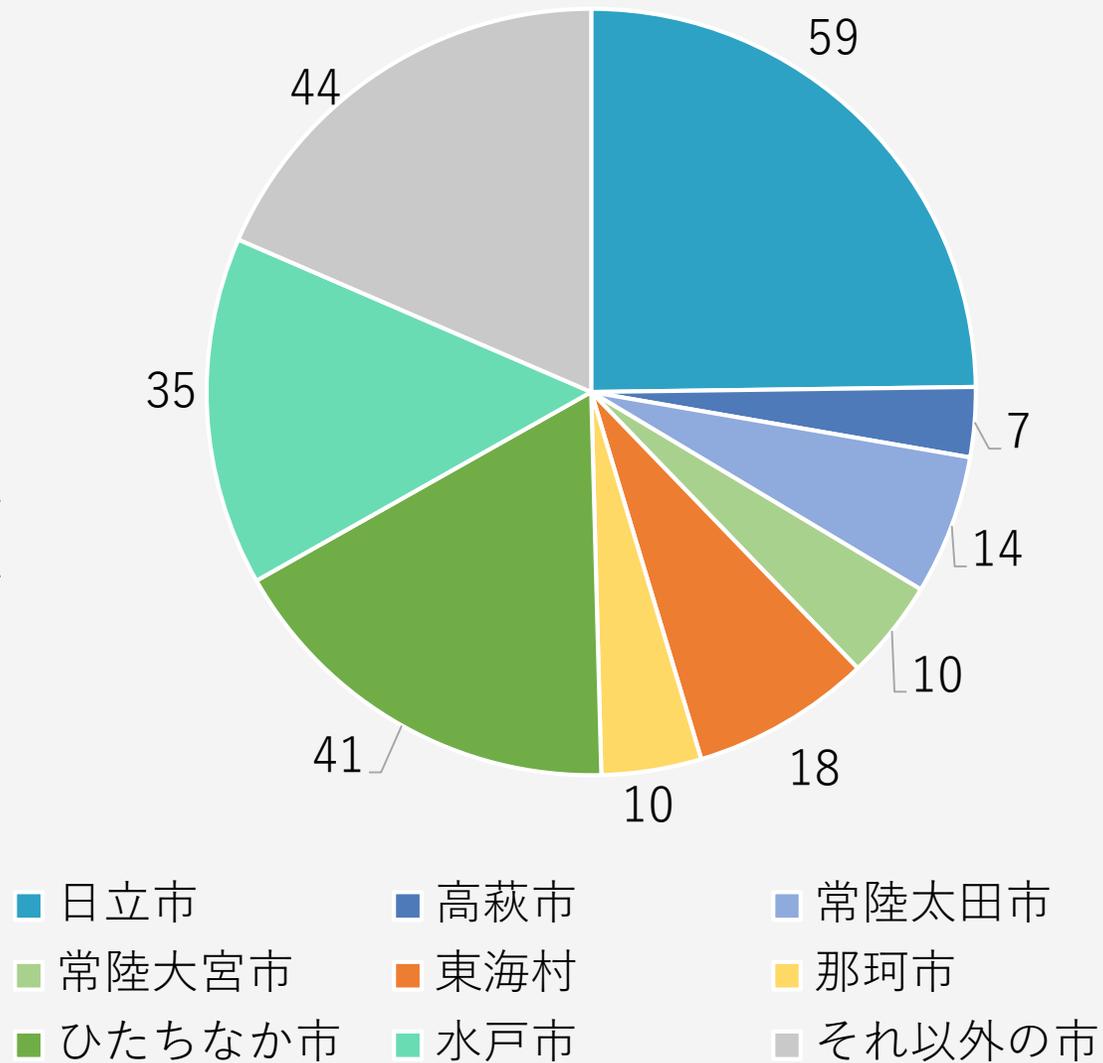
(図1) 性別



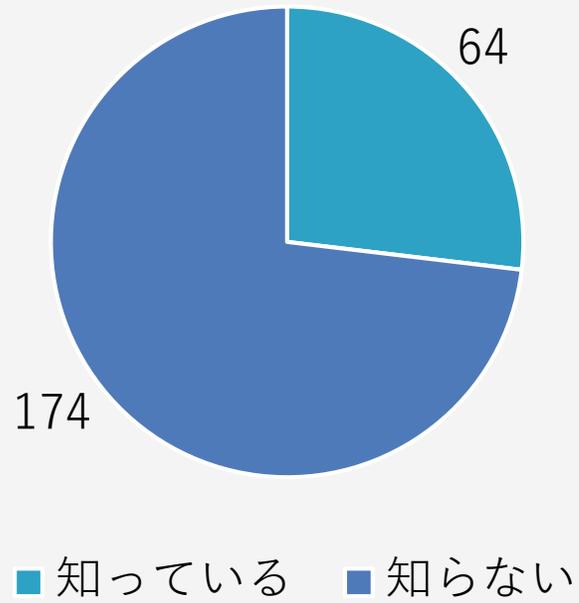
(図2) 学年



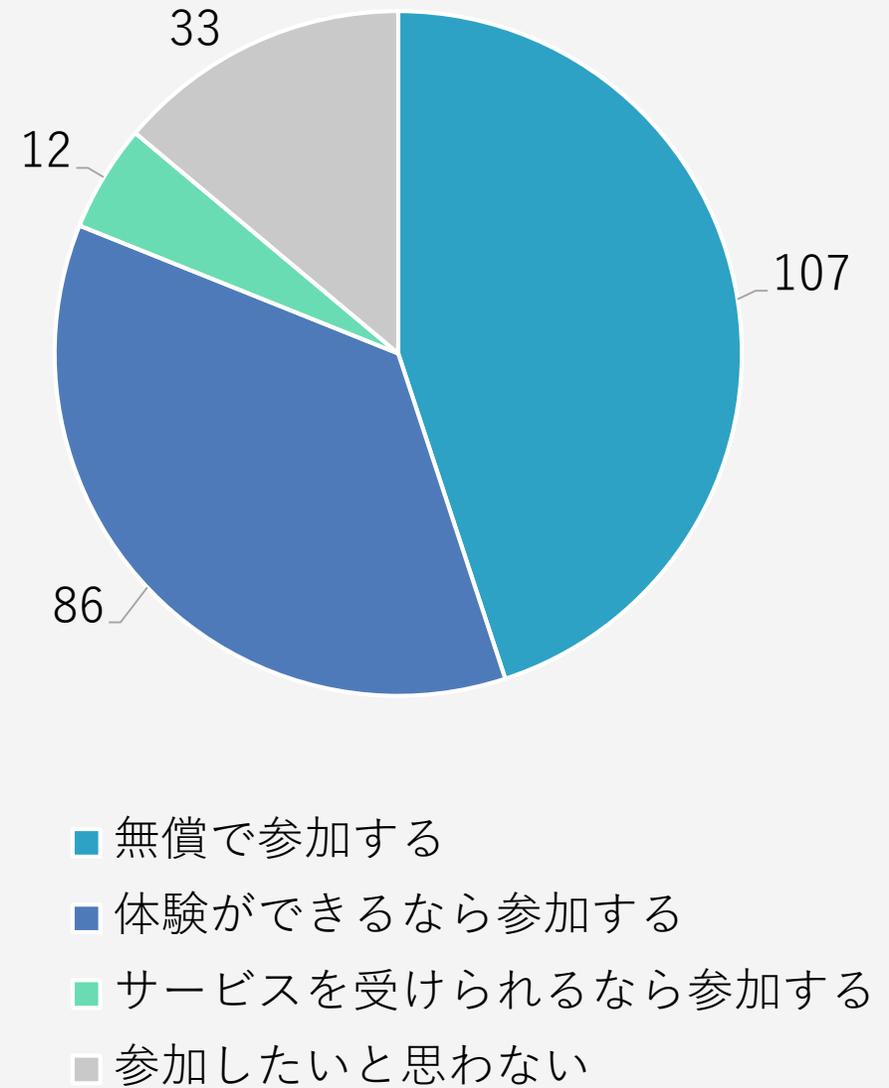
(図3) 現在、暮らしている市町村



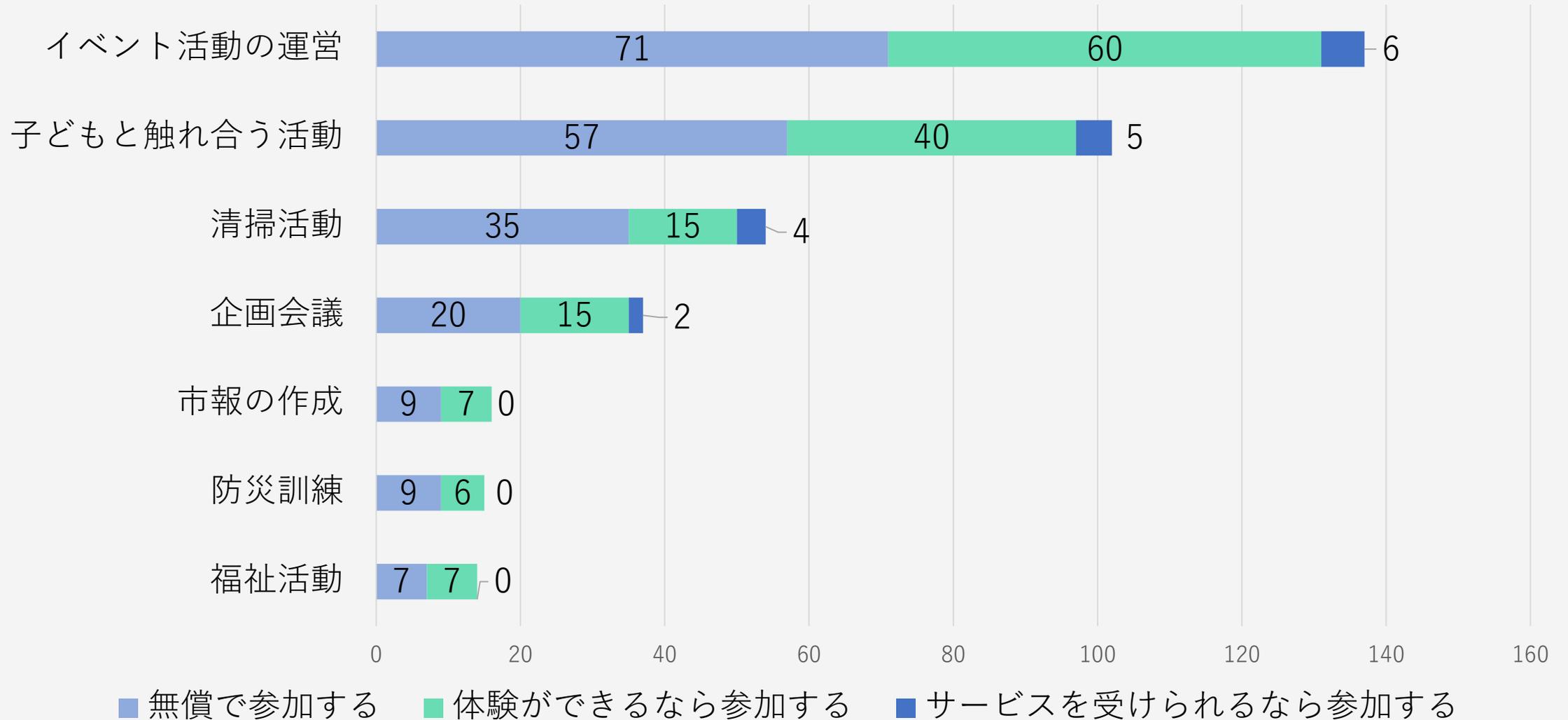
(図4) 交流センターについて



(図5) 交流センターの地域活動に参加したいか

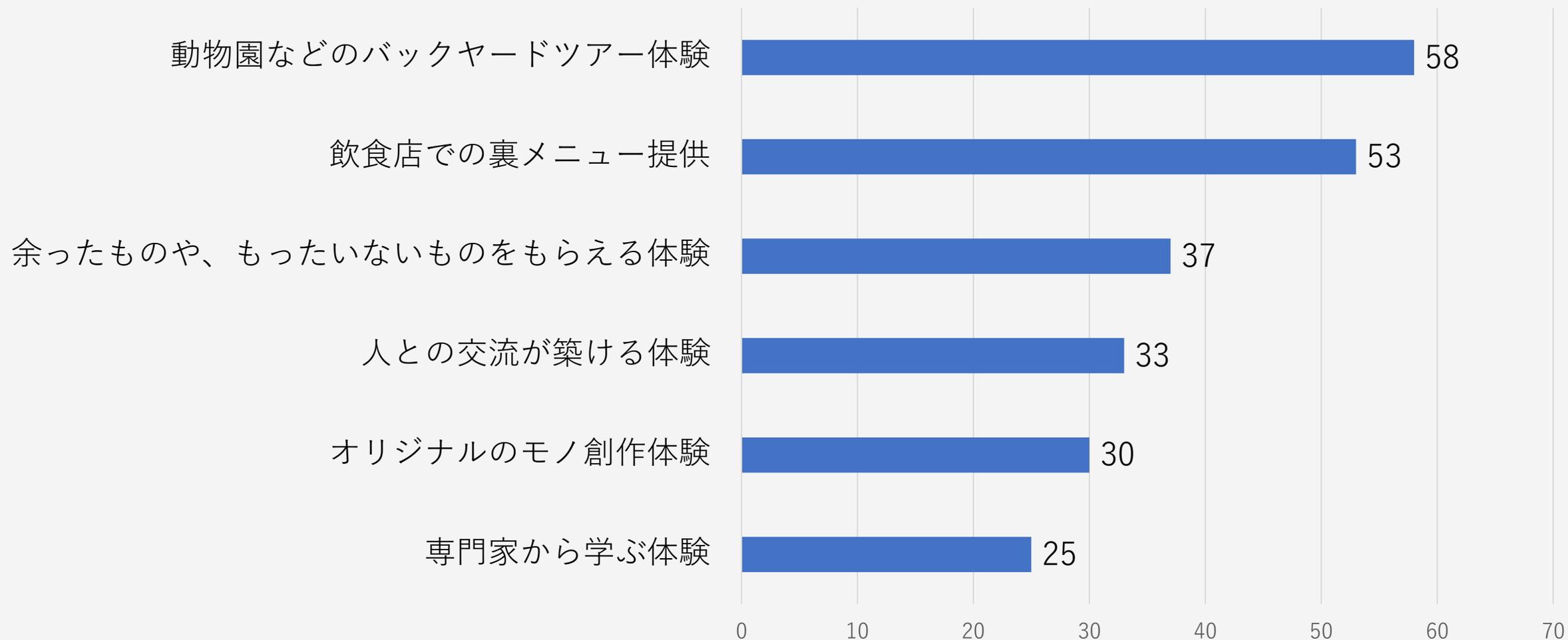


(図6) どの地域活動に参加したいですか (n=213) 複数選択可能



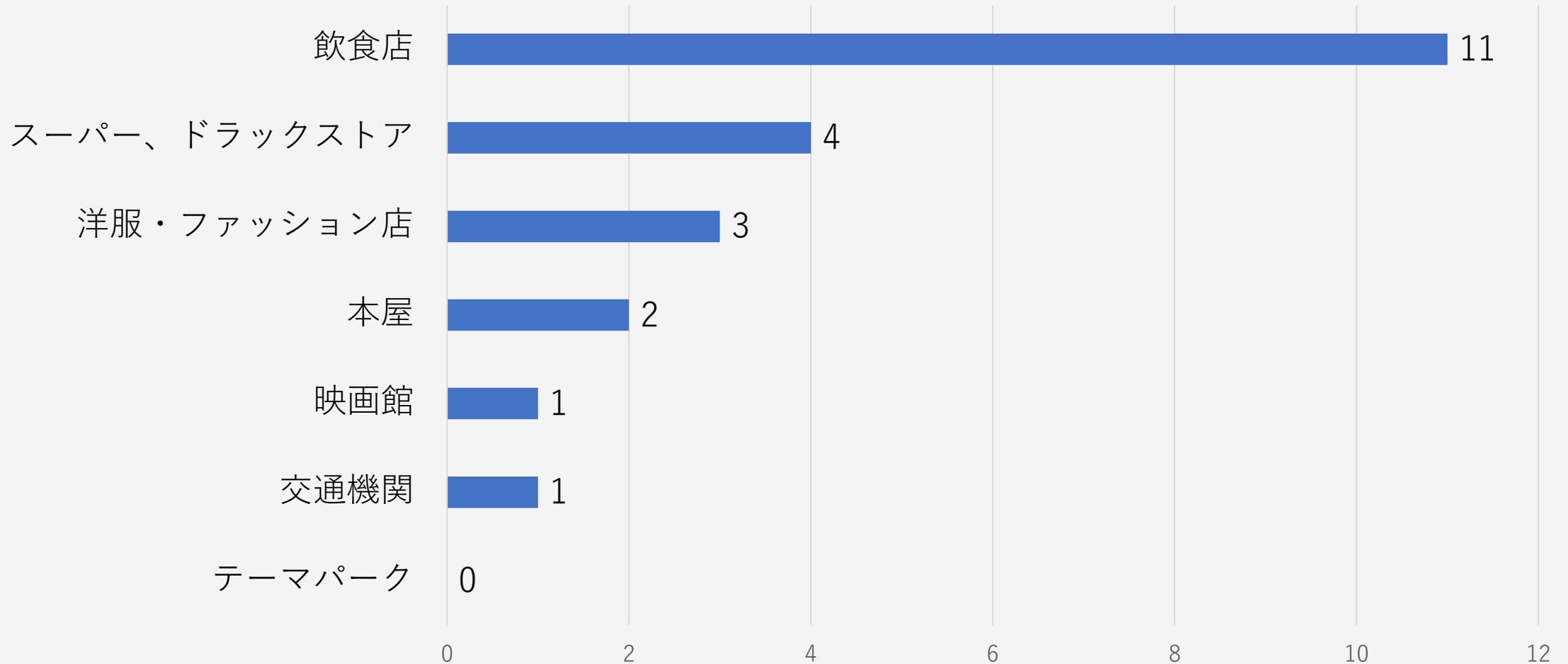
(図7) 日立市でどのような体験がしたいですか (n = 139) 複数選択可能

(※鎌倉市のまちのコインで提供している体験を参照)

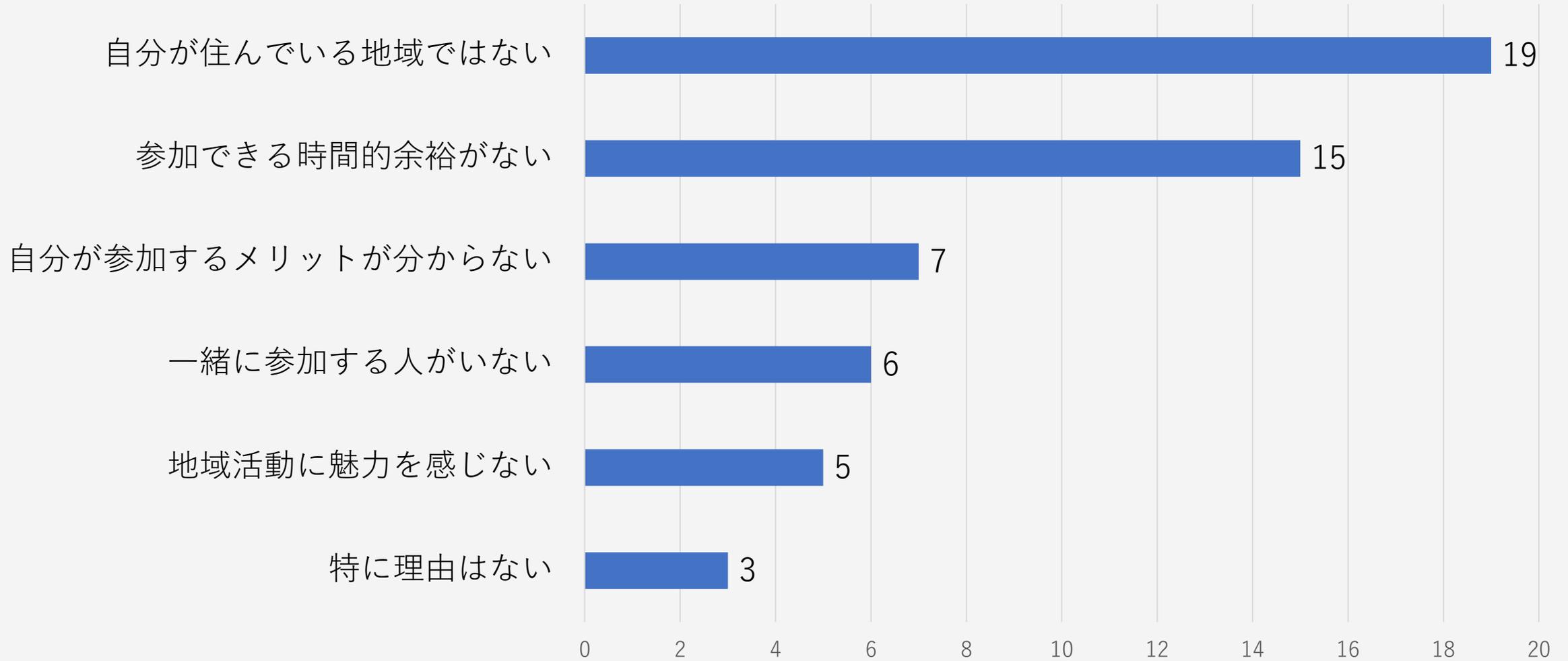


(図8) 日立市のどの店舗でサービスを受けられたらいいですか (n=12)

複数選択可能



(図9) 地域活動に参加したいと思わない理由 (n = 33) 複数選択可能



【 考察 】

8割の学生が参加したいと回答

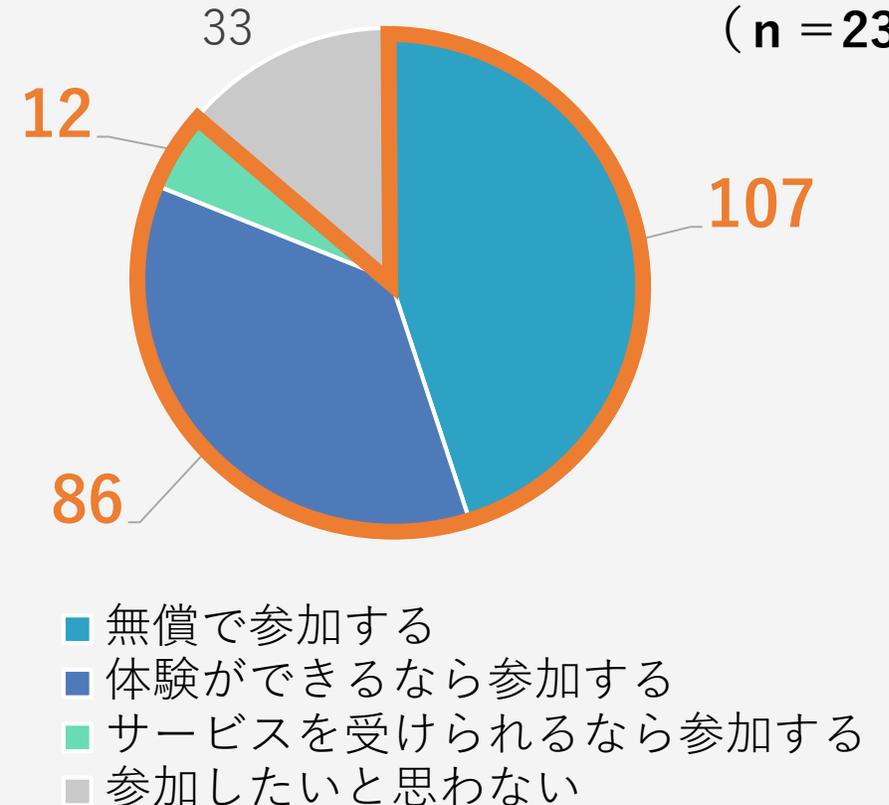
「現時点」でも参加する学生

- ▶ 無償で参加する人
- ▶ 4割の学生が当てはまる

「まちのコイン」で参加する学生

- ▶ 体験ができるなら参加する人
サービスを受けられるなら参加する人
- ▶ 4割の学生が当てはまる

(図5) 交流センターの地域活動に参加したいか
(n = 238)



【 考察 】

8割の学生が参加したいと回答

「現時

- ▶ 無
- ▶ 4

「まち

- ▶ 体験ができるなら参加する人
- ▶ サービスを受けられるなら参加する人
- ▶ 4割の学生が当てはまる

(図5) 交流センターの地域活動に参加したいか

(n = 238)

33

10

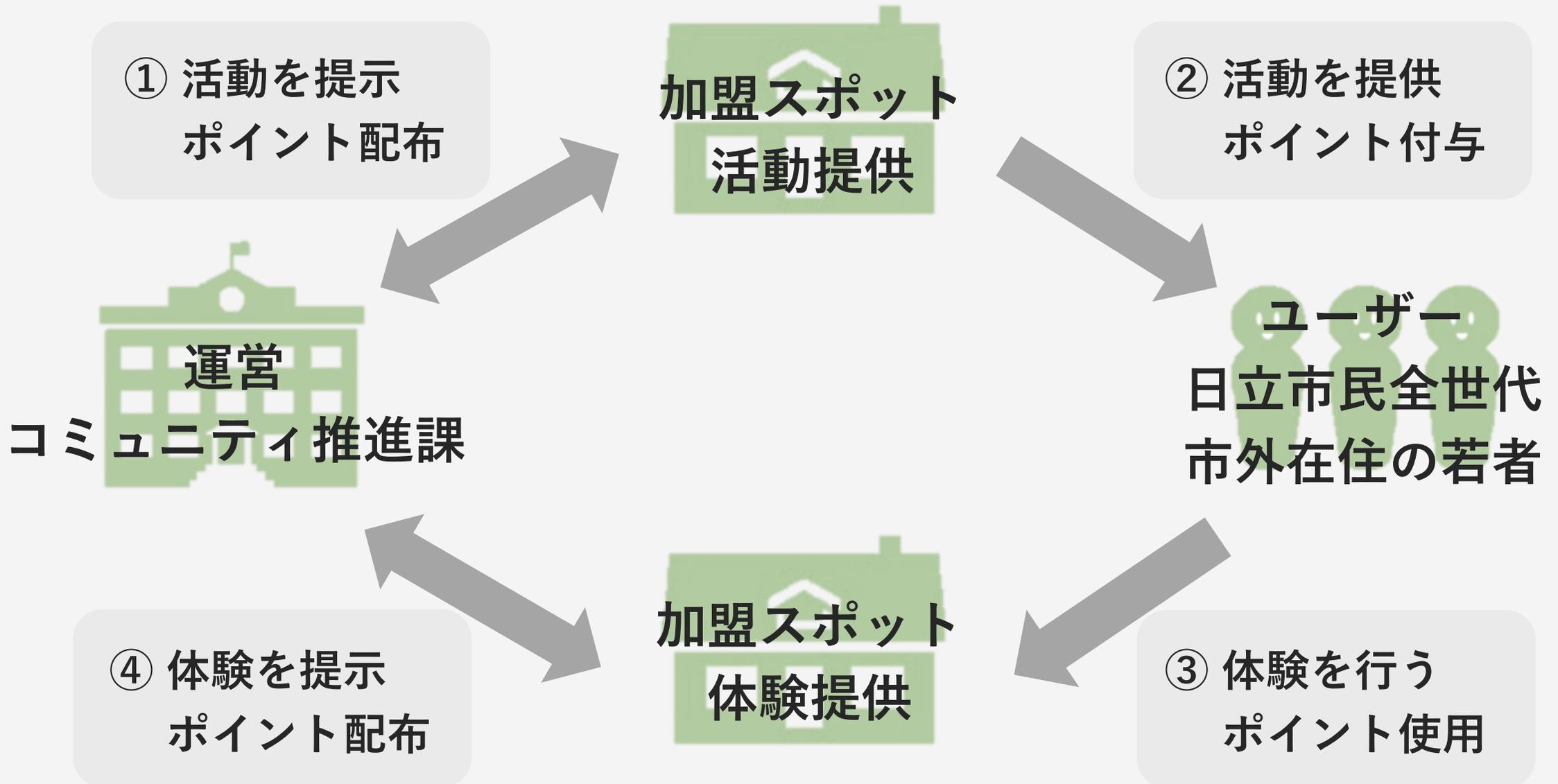
- 無償で参加する
- 体験ができるなら参加する
- サービスを受けられるなら参加する
- 参加したいと思わない

まちのコインでさらに多くの学生の
参加を促すことができる

4. 日立市でまちのコインを 使用した場合



【 仕組み 】





運営

コミュニティ推進課

コミュニティ推進課

01

まちのコインの「アプリ運営」

▶ 加盟スポットから提示された活動・体験を掲載する

ジャンル

イベント・コミュニティ
コミュニティ

活動・体験

すべて

あげる

もらう

活動・体験の
内容

関係案内所 はつひので
植物に水をあげて育てよう

+100

関係案内所 はつひので
【見つけました】探してます！大町の
福田さん

+2000

貰える・使用する
コイン数

02

「 宣伝活動 」

- ▶ ユーザーに向けてSNS・市報での情報発信活動を行う
- ▶ まちのコインの公式サイトに、日立市のSNSを掲載し、他の地域に向けて日立市をアピールする活動を行う

03

コインの「 名前付け 」

- ▶ 日立市独自のコイン名をつける

日立3モール商店街のマスコット
日立のモルちゃんから

「 もるちゃ 」





ユーザー

日立市民全世代
市外在住の若者

日立市民全世代・市外在住の若者

地域アプリを使用することにおいて...

「ユーザーの数」は非常に重要

まちのコインを使用する「ユーザーが多くなるように対象を決める」

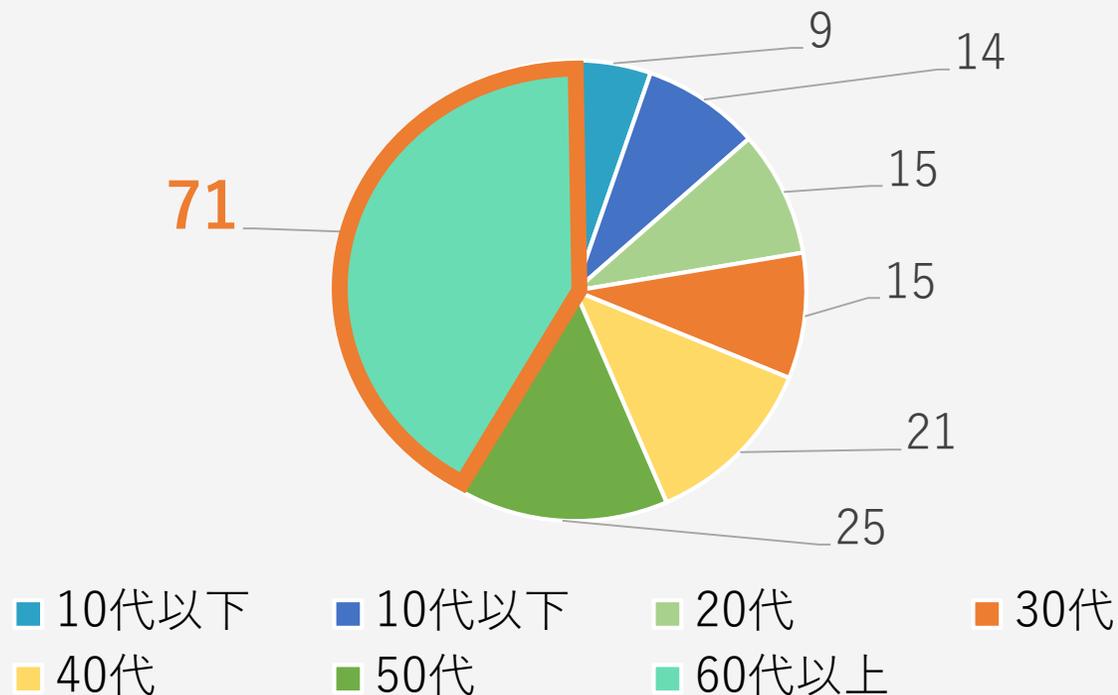
01

「日立市民全世代」

60歳以上が約5割を占める

▶ 若者だけにターゲットを絞らないことが、ユーザーの獲得に繋がる

(図10) 日立市の年齢別人口 (単位: 千人)



02

「市外在住の若者」

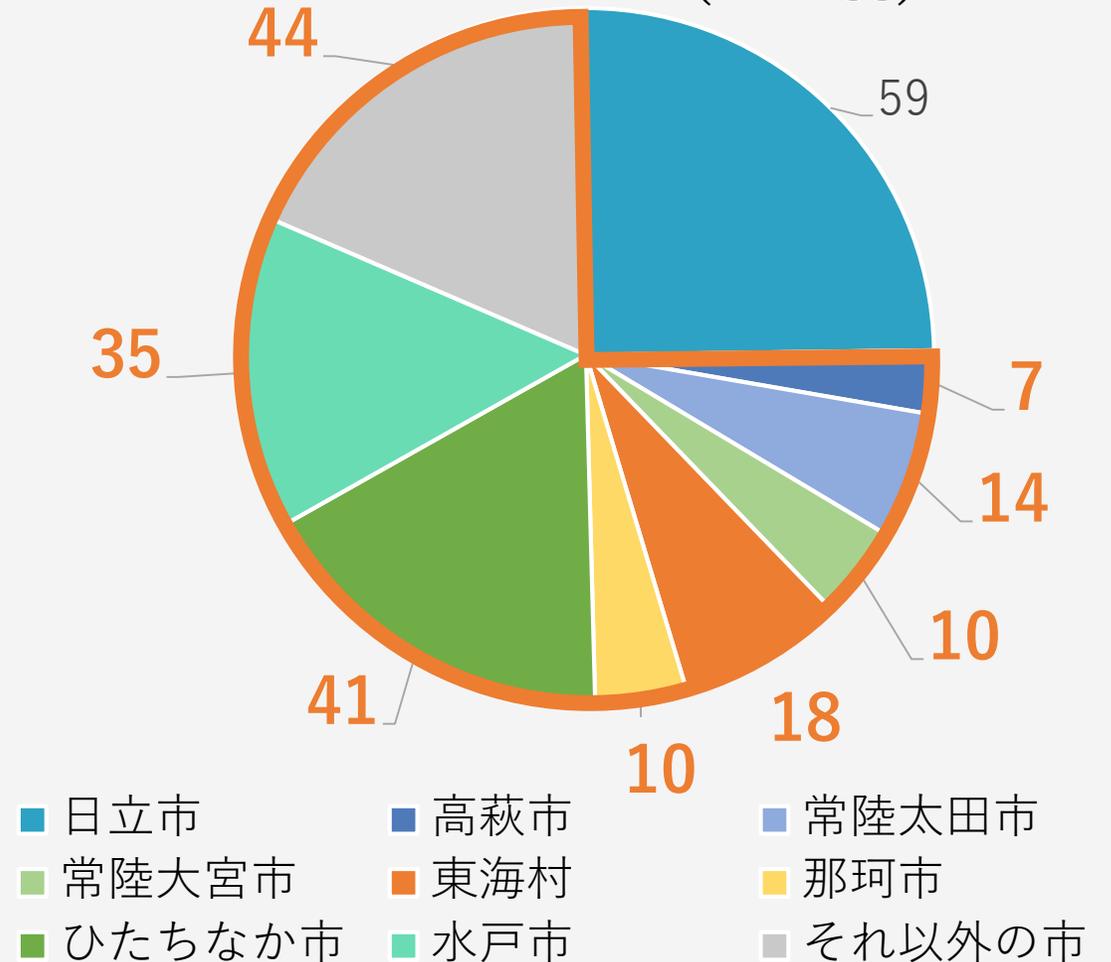
- ▶ 茨城キリスト教大学に通学している学生のうち、他の市町村在住の学生が約7割

日立市には、多くの大学・高等学校がある

- ▶ 日立市民だけにターゲットを絞らないことが、若者のユーザー獲得に繋がる

(図3) 現在、暮らしている市町村

(n = 238)





加盟スポット 活動提供

活動提供

ACTION 1

交流センター

交流センターを残すことを目的としているため、活動提供の中で、主軸として考える。

ACTION 2

体験

日立市でできるメインとなる体験。体験自体に料金はかかるが、コインを付与することで人を呼び込む。

ACTION 3

イベント

日立市でできるイベント。参加料金等にかかるが、コインを付与することで人を呼び込む。

ACTION 4

個人活動者

日立市で活動する個人活動者。イベントに参加してもらうことでコインを付与し、人を集める。

ACTION 1

交流センター

清掃活動

防災訓練

イベント活動の運営

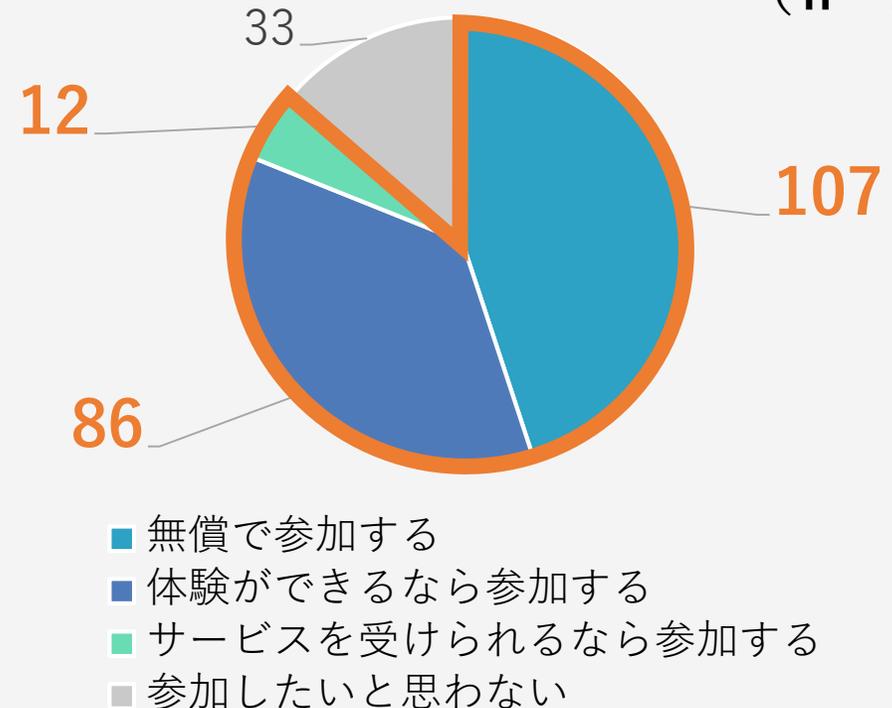
子どもと触れ合う活動

企画会議

福祉活動

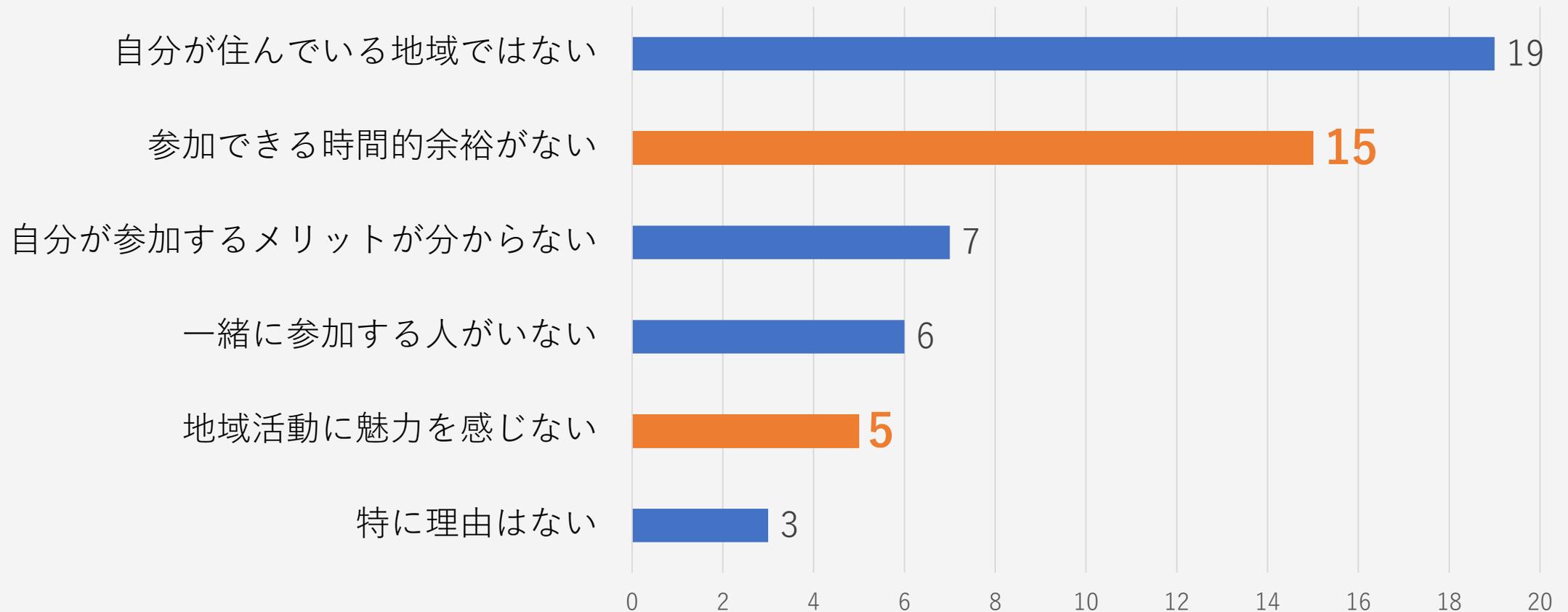
市報の作成

(図5) 交流センターの地域活動に参加したいか
(n = 238)



▶ 8割の学生が参加したいと回答

(図9) 地域活動に参加したいと思わない理由 (n = 33) 複数選択可能



▶ 地域活動とは別の活動、短い時間で簡単に参加できる活動などを提供する必要がある



ACTION 2

体験

大みか饅頭づくり

国民宿舎鵜の岬職業体験

ひたち湯海の宿はぎ屋職業体験

ふじ農園職業体験

ACTION 3

イベント



国際交流・学校交流

地域イベント

▶ ラジオ体操など

ひたち職業体験少年の団入団

ライフイベント

▶ 出産・入学・退職・健診

運動施設貸し出し



ACTION 4

個人活動者

カフェバスいろは

ロコロコキッチン

シフォンケーキ kurono

お米がおいしいごはん屋さん

ラ・コニーヌ洋菓子専門店

ヴィアヘーロ

りぼん工房恵



加盟スポット 体験提供

体験提供

(図7) 日立市でどのような体験がしたいですか (n=139) 複数選択可能

(※鎌倉市のまちのコインで提供している体験を参照)



▶ 様々な体験を提供する必要がある

EXPERIENCE 1

体験

日立市でできるサブ体験。
コインの使用により、普段体験できないことを付加価値として提供する。

EXPERIENCE 2

飲食店

普段食べられない品を提供する。
また、大盛りサービスなど付加価値をつける。

EXPERIENCE 3

余ったもの・ もったないものを貰える

お金では売買できないモノを提供する。加盟スポットとしては、廃棄ロス削減などのメリットがある。

EXPERIENCE 4

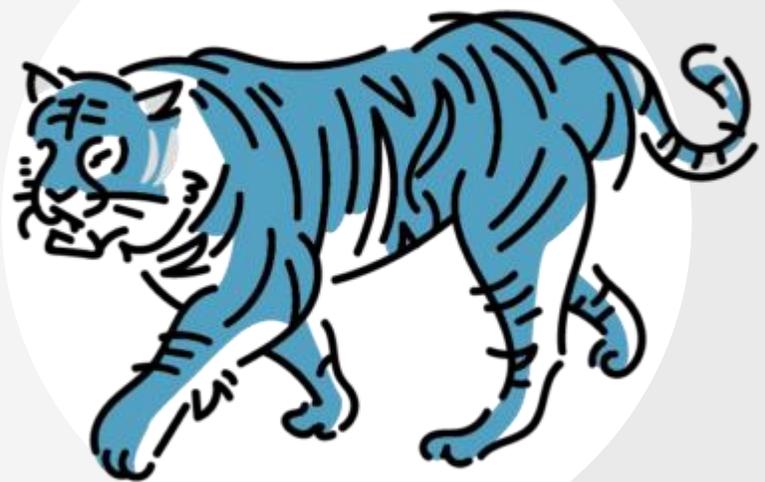
イベント

日立市でできるイベント。
コインの使用により、楽しい機会を提供する。

EXPERIENCE 5

専門家から学ぶ

日立市の伝統を専門家から学べる。
コインの使用により、普段の施設見学とは違う付加価値を提供する。



EXPERIENCE 1

体験

かみね動物園バックヤードツアー
シビックセンターバックヤードツアー
日鉱記念館バックヤードツアー
日立オリジンパークバックヤードツアー

EXPERIENCE 2

飲食店



カフェ ▶ SEA BIRDS CAFE
ラーメン屋 ▶ 麺 s Ber モグ
居酒屋 ▶ 串とんぼ

【 例外 】

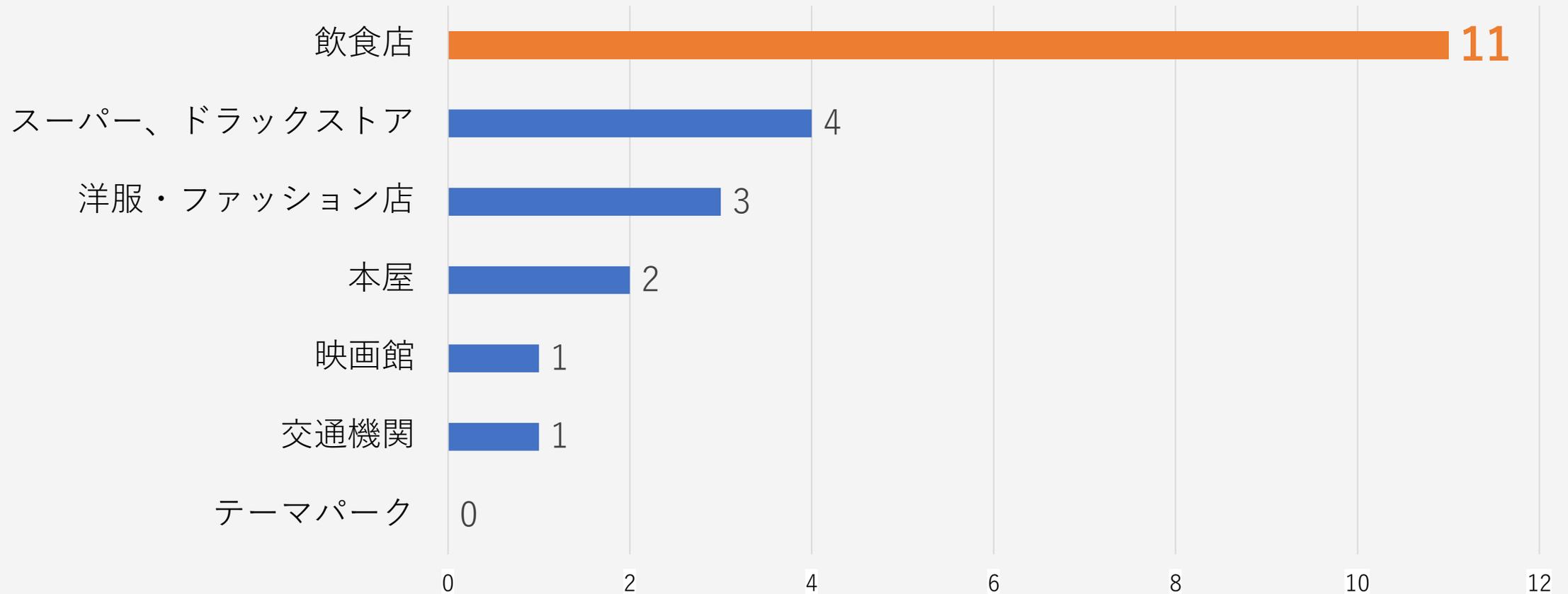
数量限定サービス

▶ 大盛りサービス

▶ ドリンク無料

(図8) 日立市のどの店舗でサービスを受けられたらいいですか (n=12)

複数選択可能



▶ 飲食店においてはサービスも提供する必要がある

EXPERIENCE 2

飲食店



カフェ ▶ SEA BIRDS CAFE
ラーメン屋 ▶ 麺 s Ber モグ
居酒屋 ▶ 串とんぼ

【 例外 】

数量限定サービス

▶ 大盛りサービス

▶ ドリンク無料

EXPERIENCE 3

余ったものや、 もったないものを貰える



傷んだ野菜

売れ残ったパン

宿で使われなくなった食器

リサイクルしたモノ

衣服のリユース

EXPERIENCE 4

イベント



商業施設で商売をする移動販売者

フリーマーケット

▶ 不用品、手作りのもの

交流する場への参加

▶ ひたち若者会議など

EXPERIENCE 5

専門家から学ぶ



神社

- ▶ 泉神社
- ▶ 大甕神社

花園花貫県立自然公園

日立風流物

伝統工芸品

- ▶ 青銅製家紋額作り
- ▶ ひたち竹人形作り

コインの割り振り

活動で獲得するコイン・体験で必要なコインを変動させることで...
「価値を高める」・「ユーザーを誘導」することができる

【活動】

01 交流センター

02 体験

03 イベント
個人活動者

【体験】

01 飲食店でのサービス

02 体験

03 もったないものを貰う

5. 日立市の課題



情報発信不足

「現時点」で、4割の学生に
地域活動に参加してもらうことが可能

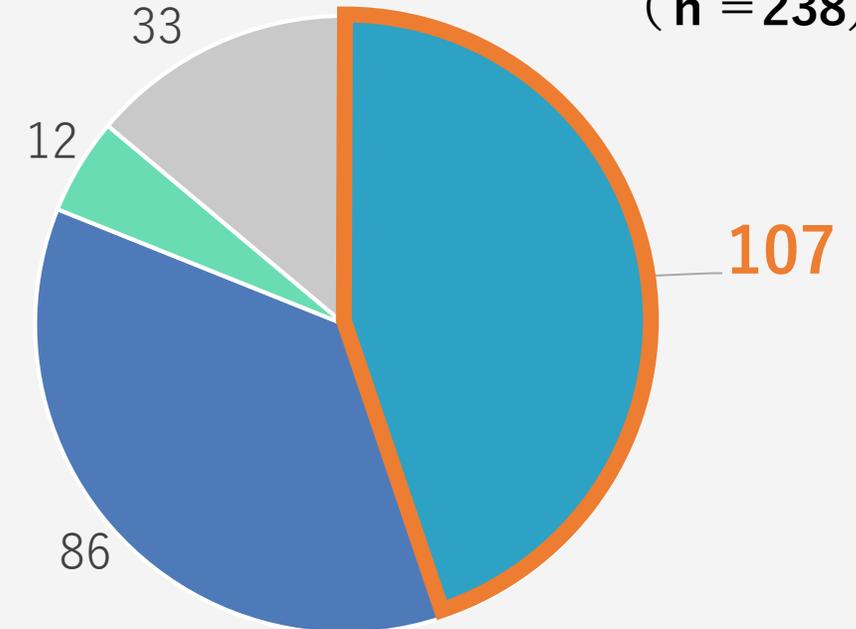


「情報発信ツール」が活用されていない

- ▶ 日立市のSNS
- ▶ 茨城キリスト教大学の情報発信サイト

(図5) 交流センターの地域活動に参加したいか

(n = 238)



- 無償で参加する
- 体験ができるなら参加する
- サービスを受けられるなら参加する
- 参加したいと思わない

情報発信の仕方

どのような動機から参加するかによって、情報発信が異なるのではないか...

「内発的動機づけ」

01

その人の興味・関心・意欲から活動に参加すること

- ▶ 企画立案の難しさと楽しさが分かったなど、その活動を通しての経験から得られるものを期待して参加する状態

「外発的動機づけ」

02

評価・賞罰などの外部の刺激から活動に参加すること

- ▶ 就職活動へ繋がる、活動後のコインがほしいなど、その活動を通して付随してくるものを期待して参加する状態

【 内発的動機づけ 】

その人の興味・関心・意欲から活動に参加する
「初期の活動者」である

▶ 無償で参加する人が当てはまる

「活動の情報」を得ることができる
まちのコインの「存在」を伝える
情報発信を行う

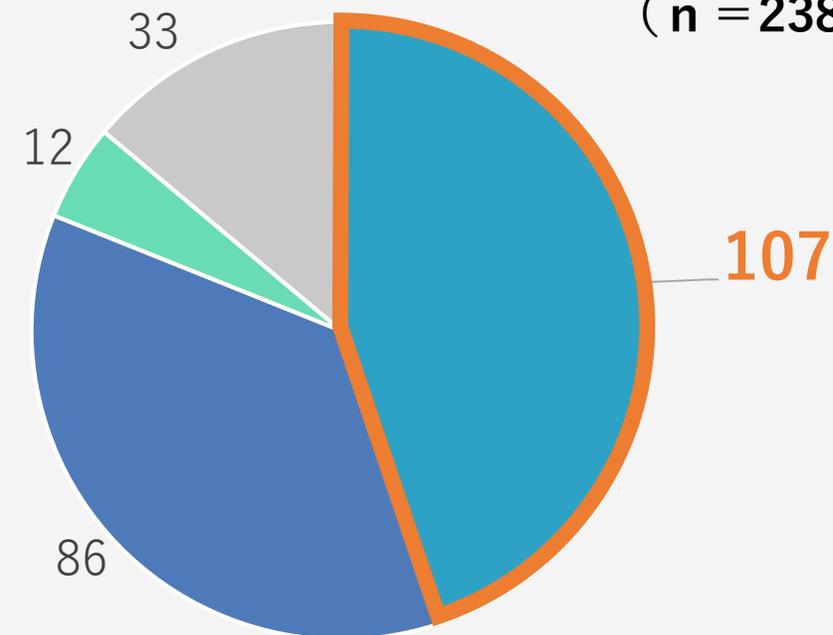
▶ 「ポスター・チラシ」

▶ 大学・高等学校の

「ボランティアサークル」で使用

(図5) 交流センターの地域活動に参加したいか

(n = 238)



- 無償で参加する
- 体験ができるなら参加する
- サービスを受けられるなら参加する
- 参加したいと思わない

【 外発的動機づけ 】

外部の刺激から活動に参加する

「一時的」に活動に参加する人である

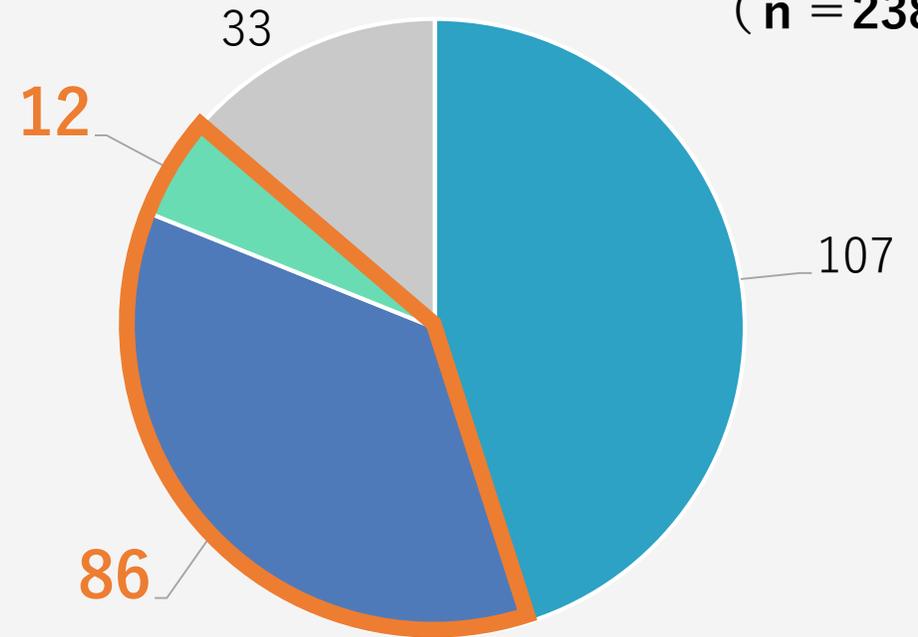
- ▶ 体験ができるなら参加する人
- ▶ サービスを受けられるなら参加する人が当てはまる

まちのコインの「活動の報酬・体験」
を伝える情報発信

- ▶ 「チラシ配り」
- ▶ 「呼びかけ」
- ▶ 「市報」

(図5) 交流センターの地域活動に参加したいか

(n = 238)



- 無償で参加する
- 体験ができるなら参加する
- サービスを受けられるなら参加する
- 参加したいと思わない

【 外発的動機づけの発展 】

外発的動機づけ

報酬のために参加

「一時的」

報酬としての体験が魅力的か



「運営・加盟スポットの対応」

が適切か

内発的動機づけ

自分の意欲から参加

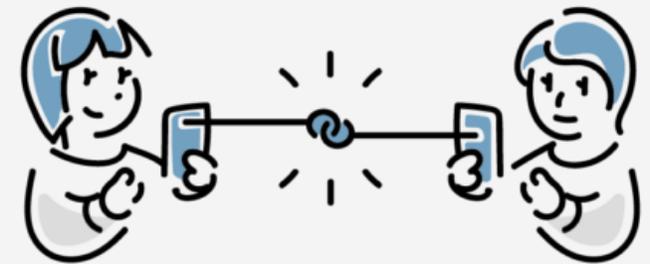
「継続的」

まちのコインの「現状」を伝える情報発信

▶ 「Instagram」

▶ 「口コミ」

▶ 「友人同士の繋がり」



6. 提案のまとめ



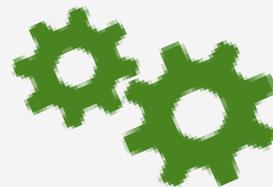
PURPOSE



交流センターの存続
日立市の店舗活性化

- ▶ 交流センターは日立市を
住みやすくしていることから

METHOD



まちのコイン

- ▶ 様々な使用効果・
強みから



▼ 掛け合わさることで ▼

GOAL



交流センターの存続のため、まちのコインを使用
まちのコインによって日立市の店舗活性化

▶ 「日立市役所×学生」によって実現する



▶ 日立市民だけでなく、参加意欲のある学生たちも一緒にまちのコインで提供される活動・体験を行う

▶ 「日立市役所×学生」によって実現する

まちのコインを使用することで
日立市に関わる全ての人
日立市をよりよい地域にするための
行動を起こすことができる

▶ 日立市民だけでなく、参加意欲のある学生たちも一緒に
まちのコインで提供される活動・体験を行う

7. 参考文献 / 活動費用

【参考文献】

まちのコイン公式紹介

[machino_coin_setsumei_shiryuu.pdf](#)

【活動費用】

インタビューの際の交通費 3人分 **計 6,960円**

- ・コミュニティ推進課へのインタビュー 2回
- ・久慈交流センターへのインタビュー
- ・大みか交流センターへのインタビュー

ご清聴ありがとうございました

